

目標達成計画

作成日: 平成28年9月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54	馴染みのものや好みの寝具などを利用して頂いているが、まだまだ生活感が感じられず居室はくつろぐ場ではなく寝る場所になっている。	自宅と同じ個別の空間づくりをお手伝いし、居室内でゆったりと自分の時間を過ごすことができるようになる。	居室内に、イスやテーブル等など自宅で利用していたものや本人が気に入っている家具などを家族と共に協働してその方らしい生活環境づくりを目指す。	6月
2	45	出来るかぎり本人の希望に叶うように、入浴回数や時間などを設定して支援しているが、まだ希望に添えていない場合がある。	就寝前など希望がある場合には、入浴支援が出来るように努める。	完全な入浴を提供するのではなく、シャワー浴やお湯につかるだけ等の工夫をし入浴の満足感を得られるように対応する。	6ヶ月
3	23	本人の意向や要望を定期的に聞き取ることができていない。聞き取りしても生活に反映しきれていない。	定期的に本人・家族と話をする機会をもち、生活に反映できるように努める。	認定更新時は元より、本人のモニタリングは毎月一回、家族モニタリングは来所時や3ヶ月に一回亭と行き、居室担当者が中心となり生活環境を整える。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。